

『「質の高い教師」とは何か』に込める 教師の子ども理解と協働の場

会場：北海道大学教育学部研究棟3階会議室

2025年4月に出版された福井雅英先生の『「質の高い教師」とは何か』において論じられる今日の政策的教師像へのアンチテーゼについて、著者自身のこれまでの豊かな学識と経験よりお話いただく。その要点はいくつかあるなかで、子どもたちが抱える困難をその生活状況からその見ている世界を含めて多角的に理解していく教師たちの交流の場が重要となろう。子どもの姿と自らの実践を分析した「実践記録」の意味やその書き方も含めて、多くの現職教師のみならず、教師を目指す学生たちとも共に学び、語り合う機会としたい。

講師 福井 雅英



福井雅英氏は、北海道教育大学、滋賀県立大学で教師教育に携われ、小・中学校教員としての豊富な実践経験を基盤に、臨床教育学、教育相談、子ども理解を中心とする教育支援のあり方を理論化・実践化してきた。主著に『子ども理解のカンファレンス―育ちを支える現場の臨床教育学―』（かもがわ出版、2009年）がある。

2025
11/29 15:00-17:30
土曜日

参加費：無料

事前申し込み：不要
※対面の実施

プログラム

- | | |
|-------|-----------------------|
| 15:00 | 開会の挨拶 |
| 15:05 | 福井雅英先生のご講演 |
| 16:25 | 休憩 |
| 16:30 | フロアからの質疑に対する
指導・助言 |
| 17:30 | 閉会 |

主催：北海道大学子ども発達臨床研究センター

担当：教職高度化研究部門・篠原岳司 (takeshi★edu.hokudai.ac.jp) ★を@に変更してください

